

..... 編集後記

◆ 今月号は、地殻化学部の今井 登さんを中心としたグループによる、地球化学図特集となりました。所内の研究グループの方の他、名古屋大学の田中 剛さん、農業環境技術研究所の中井 信さんからも寄稿いただきました。ありがとうございます。

◆ 田中さんは10年程前に地質調査所から名古屋大学へ出向されました。出向とはいえ移籍してしまっている訳で、当時、私自身は大変残念な思いがしました。いただいた原稿を拝見して、当時の自らの了見の浅さを痛感しました。田中さんは地質調査所を見捨てて行かれた訳ではなく、地質調査所在職中に田中さんご自身が打ち立てた実フィールドと地球化学とを結び付ける方法を、移籍先の名古屋大学で学生さんを相手に拮げておられたのでした。20年以上も前のことですが、地質巡検でお目にかかったある地球化学研究者の方が、「粉でしか知らなかったソレアイトを初めて野外で見た」とおっしゃっていたことを思い出してしまいました。

◆ もう一つ、地質巡検の話。これも20数年前のことでしたが、三鉱学会が新潟大学で開催された折、姫川上流の巡検に参加したことがあります。翡翠の産地に向かう道すがらに、何軒かの掘っ建て小屋がありました。案内者の説明では、そこは白い翡翠に色をつける工場とのこと。色のついた翡翠の方が値がはるのだそうです。富山湾の堆積物の化学組成の特徴の一つとして、姫川河口のクロム、ニッケルの濃集が顕著です。以前、そのお話を聞いた時には、そんなことも原因となって堆積物中の重金属濃度分布が形

成されているのかなと想像しましたが、これは姫川流域に分布する蛇紋岩類に由来する異常なのだそうです。関連しているのは寺島 滋さんほかの稿です。

◆ 私がおります産学官連携推進センターには地質相談所が併設されています。昨年、地質相談所に土壤の化学組成に関する質問が寄せられました。地質調査所が作成している地質図は、土壤を剥いだその下にある地層、岩石の分布や構造を表わしたものと表現され、土壤は除けもののような扱いになっています。ではどこへ尋ねたらよいのか、寡聞にして農業環境研究所でこのような研究が行われていることを知りませんでした。中井さんから、まさにその質問に答える土壤中の元素濃度という原稿をいただきました。質問を下さった方、地質ニュースをご覧いただいていますでしょうか？

◆ 以上のほか、資源エネルギー地質部の須藤定久さんによる50万分の1鉱物資源図「中部近畿」の紹介と、シリーズ地質標本館だよりをお届けいたします。鉱物資源図は平成8年度から始まった新シリーズで、「北海道(東部・西部)」、「東北」、「関東甲信越」に続く4番目の図面です。地質標本館だよりは、昨年8月に開館20周年記念特別展に並行したイベントとして行われた「水晶拾い」の顛末記です。水晶集めやら実施のシミュレーションやら、大変な事前の準備を行って、天候を気にしながらの当日の幕開け。拾う人、拾わせる人の楽しそうなやり取り。次の機会にはあなたも是非ご参加ください。

(湯浅真人)

地質ニュース編集委員会

委員長：湯浅真人

副委員長：石井武政

委員：星住英夫・飯笹幸吉・七山 太・佐々木宗建
佐藤興平・大熊茂雄・前川竜男・木下泰正・
中野 司・遠藤祐二

事務局：総務部業務課広報係(渡辺光次・河村幸男)

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-3

地質調査所 地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-61-3520

Fax. 0298-61-3569

地質ニュース	第558号	2001年	2月号
	定価¥785(本体価格¥748)	〒実費	
2001年2月1日	発行		
編集	産業技術総合研究所 地質調査所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者 林 光生		
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073		
	Tel. (03) 3265-0951(代表)		
	Fax. (03) 3265-0952		
	振替口座 00110-6-32466		
	麹町局私書箱第21号		
印刷	株式会社 エアフォルク		

© 2001 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターおよびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ